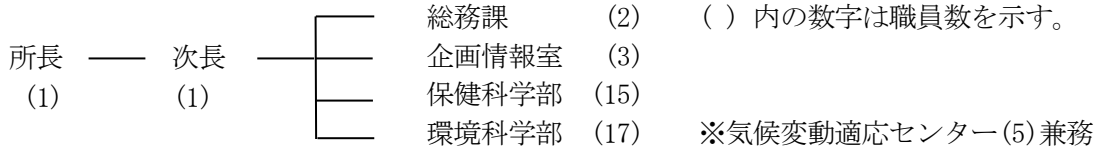


山口県環境保健センター

職員総数：39人（葵庁舎 20人、大歳庁舎 19人）

組織図



センターの概要

1 施設

葵庁舎（保健部門：総務課、企画情報室、保健科学部）

鉄筋コンクリート造 地上4階 昭和44年2月開設

総務課、企画情報室、保健科学部各実験室、分析機器室、会議室、動物舎

大歳庁舎（環境部門：総務課、企画情報室、環境科学部）

鉄筋コンクリート造 地上3階 昭和49年1月開設

総務課、企画情報室、環境科学部各実験室、大気汚染常時監視テレメータ室、会議室、高度安全分析棟、気候変動適応センター

2 業務

県民の健康と快適な生活環境を守るため、本県における保健・環境分野での科学的・技術的中核機関として調査研究、試験検査、研修指導、情報提供等の業務を行っています。

- 調査研究**：感染症・食中毒に関する調査研究、有害大気汚染物質の環境調査及びシミュレーション分析、水質・廃棄物・有害化学物質に関する調査研究、干潟の生態系機能に関する調査研究
- 試験検査**
 - 一般依頼検査：寄生虫卵検査、麻痺性貝毒検査
 - 一般廃棄物最終処分場の放流水等検査、環境汚染に係る地下水調査
 - 行政依頼検査：食中毒及び感染症病原体等検査、動物由来感染症調査、麻痺性貝毒検査、食品中の残留農薬・抗菌剤検査、食品中のアレルゲン検査、遺伝子組換え食品検査、医薬品・家庭用品規格検査、ばい煙発生施設等の立入検査、大気汚染常時監視、大気中の有害化学物質調査、大気中の微小粒子状物質(PM_{2.5})の成分分析、航空機関係等騒音振動調査、ダイオキシン類環境濃度等調査、工場排水・地下水中の有害物質検査、産業廃棄物最終処分場に係る検査、廃棄物・土壌の有害物質検査、突発公害に係る環境分析、UPZ内の放射線測定
- 研修指導**：保健・環境関係技術者の受託研修、海外技術研修員の受け入れ
- 環境学習支援**：親と子の水辺の教室指導者研修、インターンシップ・体験学習等の訪問受け入れ
- 山口県感染症情報センターの管理・運営**：現在流行している感染症等の発生動向調査及び結果公表
- 山口県気候変動適応センター**：気候変動影響・適応に関する情報収集・提供など
- 情報提供**：ホームページを活用した感染症情報や大気汚染状況常時監視情報等の提供
- 委託調査、共同研究**
 - 厚生労働省：感染症流行予測調査、地方自治体の連携によるノロウイルスの分子疫学情報の収集と活用、地方自治体における麻疹・風疹サーベイランス体制に関する研究 など
 - 環境省：化学物質環境実態調査(大気、水質、底質、生物)
 - 広域総合水質調査(底質、底生生物)
 - 原子力規制庁：環境放射能水準調査(空間放射線量率の測定、核種分析)
 - 国立環境研究所：里海里湖流域圏が形成する生態系機能・サービスとその環境価値に関する検討
 - 光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み
 - 災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発
- 日韓海峡沿岸県市道環境技術交流事業**
 - * 日本側4県(山口県、福岡県、佐賀県、長崎県)、韓国側1市3道(慶尚南道、釜山広域市、全羅南道、済州特別自治道)
- 山口大学工学部との連携**：水環境フォーラム山口の開催

(令和4年4月1日現在)